

6人制/ビーチバレーボール/ビーチVマッチ2017 ルールの相違点

	6人制	ビーチバレーボール	ビーチ V マッチ2017
プレーヤー	6人	2人	
コートサイズ (長さ x 幅)	18m x 9m (男女とも)	16m x 8m (男女とも)	
ネットの高さ(一般)	2.43m (男子) 2.24m (女子)		
ボールの円周 及び空気圧	65~67cm 0.30~0.325kg/cm ²	66~68cm 0.175~0.225kg/cm ²	
セット及び試合 の勝者	25点先取・3または5セットマッチ (第5セットは15点先取)	21点先取・3セットマッチ (第3セットは15点先取)	25点先取・1セットマッチ 24-24の同点となった場合、 27点を先取したチームが勝者となる。 (上限を27点までとする)
コートチェンジ	各セットごと (第5セットはどちらかが8点時)	両チーム合計点数が7の倍数 (第3セットは5の倍数)	両チームの合計点数が10の倍 数の時にコートスイッチする。
タイムアウト (長さ・回数)	30秒 セットにつき2回	30秒 セットにつき1回	(実質的な) 30秒 セットにつき1回
テクニカルタイムアウト	先行チーム8点時、16点時 (第5セットはなし)	両チーム合計点数が21点時 (第3セットはなし)	両チーム合計点数が 25点の時に30秒
競技者交代	各セット6回まで	なし	
セット間	3分	1分	
アタックヒットの反則	ルール13.3	ルール13.2 ・指の腹を用いたティッププレー/フェイントによるアタックヒットの完了 ≪注意≫ ネット上で接近した双方が相対するプレーでは、 ① アタックヒット側プレーヤーが先に接触した場合、 指の腹を使うアタックヒットは反則 ② レシーブ側プレーヤーのブロックに先に接触した場合、 双方が指の腹を用いたプレーが可能 (互いに相手から送られたボールのブロックと理解) ③ ネット上での同時接触は、6人制と同じ判定 ・オーバーハズで両肩に対し直角でない方向に アタックヒットを完了させたとき	
ブロック	一回目の接触回数としない	一回目の接触回数とする	一回目の接触回数としない
ファーストレシーブ	1つの動作中であればボールは 様々な部分に連続して接触し ても良い (ルール9.2.3.2)	・強打(相手からのサービスを を除く)されたボールを指を 用いたオーバーハンドでレ シーブするとき、ボールが一 瞬、長引いて接触しても良い (ルール9.2.2.1) ・オーバーハンドで指を用い たプレーでない限り、1つの動 作中であればボールは様々な 部分に連続して接触しても良 い (ルール9.2.3.2)	6人制と同様の基準。
相手空間内でのブロック	許される		
サービス時のポジション	ローテーションに したがったポジション	フリーポジション (但し、サーブ以外はコート内)	
サービスの実行	主審の吹笛後8秒以内	主審の吹笛後5秒以内	
<備考> 指を用いたオーバーハンド のハンドリング基準			Vリーグに準じたハンドリング基準 ①ダブルコンタクトの判定基準は、Vリーグ とビーチバレーボールでは差異はない ②キックボールの判定基準は、ボールと 指との接触時間を、ビーチバレーでは Vリーグより短く要求するが、 本大会では考慮しない